

## 指定管理者からの令和4年度事業報告概要

<b>施設名</b>	岡山県立青少年農林文化センター三徳園
------------	--------------------

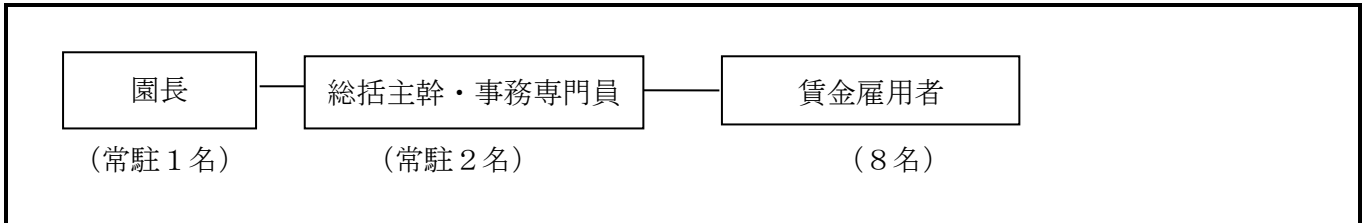
### 【指定管理者の概要】

<b>名称</b>	公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団	<b>代表者</b>	理事長 京 博司
<b>所在地</b>	岡山市中区古京町一丁目7番36号		

### 【指定管理の概要】

<b>指定期間</b>	令和4年4月1日～令和9年3月31日	<b>報告期間</b>	令和4年4月1日～令和5年3月31日
<b>管理業務の内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三徳園の施設及び設備の維持管理に関すること。</li> <li>・三徳園の施設の利用等の許可に関すること。</li> <li>・三徳園の運営に関すること。</li> </ul>		

### 【管理体制の状況】



### 【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		研修施設		合計
許可 件数	4年度	180		180
	3年度	170		170
	増減	10		10

### 【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設、設備の維持管理業務の実施状況	研修交流館・矢野講堂及び矢野館の維持管理、施設・設備・農業機械重機の修繕・保守点検、栽培展示園等の管理、園内修景管理、清掃・ごみ処理等
施設、設備の利用状況	来園者数：199,430人、研修施設利用者数：5,504人 ・ホリデイ就農ゼミ（8回 のべ200人） ・農福連携指導者研修（9回 のべ63人） ・おためし農福（3回 のべ71人）等
自主企画事業の実施状況	計24回実施 ・園児向け体験教室（80人） ・職場体験学習受入（中学生13人） ・サポーター園内清掃活動（12回） ・展示即売会等

### 【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

		研修施設		合計
収入額		439,450		439,450
利用件数		180		180
減免額		1,005,790		1,005,790
減免理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県事業、県補助事業及び委託事業での利用のため。</li> <li>・三徳園友の会の三徳園の自主企画（即売会等）への協力及び奉仕活動（草刈等）利用のため。</li> </ul>			

# 指定管理者からの令和4年度事業報告概要

## 【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		4年度	対前年度増減額	3年度	備考
<b>収入額 A</b>		33,241,734	2,090,906	31,150,828	4年度収入額 その他の主なもの ・農福連携研修事業受託料 1,470,000円
内 訳	指定管理料	27,200,000	1,024,000	26,176,000	
	利用料金収入	439,450	△75,300	514,750	
	事業収入	3,844,990	1,418,666	2,426,324	
	その他	1,757,294	△276,460	2,033,754	
<b>支出額 B</b>		33,971,379	2,612,927	31,358,452	
内 訳	人件費	21,766,076	856,898	20,909,178	
	管理運営費	12,205,303	1,756,029	10,449,274	
	事業費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
<b>収支額 A-B</b>		△729,645	△522,021	△207,624	
県への納入金		-	-	-	
<b>実質的な県負担額</b>		27,200,000	1,024,000	26,176,000	

## 【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運営 状況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が行われていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令等に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B	危機管理マニュアルを徹底し安全性の確保に努めていた。開園前の巡回点検をはじめ、事前に危険性のある箇所を立入禁止にするなど、来園者の安全確保を最優先にした管理が適切に行われていた。 更に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、三密防止の啓発やアルコール消毒液の設置等が実施されていた。
	④財産の適切な管理	B	建物・施設等の適切な保守管理がなされていた。
導入 効果	①利用状況	A	新型コロナウイルス感染症対策による休園措置がなかったことや、ホームページによる積極的な情報発信等により、利用者は増加した。 施設の利用は県の研修が中心であるが、安全に活用できるよう配慮されていた。 [総入園者数] R4:199,430人←R3:142,860人
	②収支状況	B	研修農場の成園化により、農産物販売額が増加したものの、高品質農産物生産のための栽培管理や出荷調製、販売対応等により人件費等が増加したことから、収支はマイナスとなった。
	③サービス向上	B	施設の管理状況について来園者の満足度は高く、展示即売会をはじめ自主企画事業を実施するなどサービス向上に努めていた。
<b>管理運営業務全般</b>		B	協定書や計画書に基づく適切な管理がなされるとともに、展示即売会や児童・生徒の体験学習受け入れなど、自主的な取組がなされていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。